

# 硬筆書道

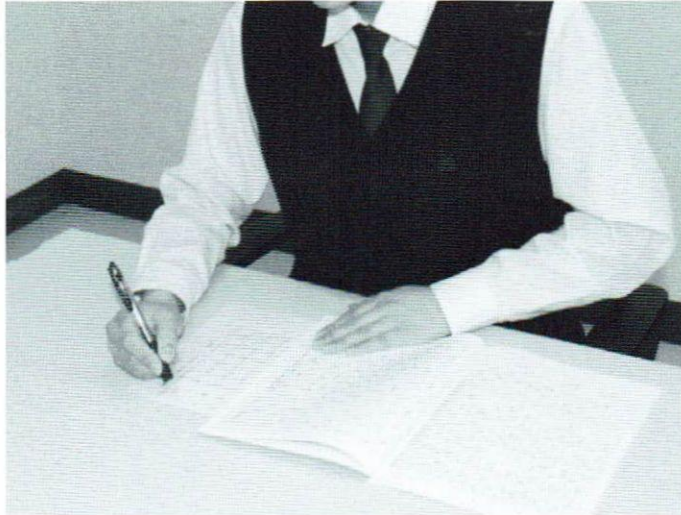
一般部 初級編

硬筆書道検定テキスト

宮崎県硬筆書道検定委員会

# 執筆法について

ペン軸の下から2～3センチぐらい下の方を持ち、ペンと紙面の角度が45°～60°ぐらいが平均的な持ち方です。ペンを立てすぎて紙を破いたりしないようにしましょう。(写真参考)



ペンは、紙面との角度を45°～60°ぐらいにし、指や腕に力を入れすぎないで軽快に運ぶ。

上体は、まっすぐにし、やや前にかたむける。  
足の位置に注意する。

目次	
硬筆書道の心得	1
一、楷書の基本・基本点画	2
〈文字の構成〉	3
〈部首〉	4
〈楷書の实用文字〉	7
〈楷書に調和する平仮名〉	10
〈楷書の文章〉	14
〈行書基本点画と部首〉	18
〈行書の实用文字〉	20
〈行書に調和する平仮名〉	23
〈臨書〉	29
二、諸文書の形式	34
〈手紙文〉	35
三、四体(楷・行・草・隸)の練習	38

右	左	後	前	北	南	西	東
右	左	後	前	北	南	西	東

土	金	木	水	火	月	日	週
土	金	木	水	火	月	日	週

億	万	千	百	拾	参	式	壹
億	万	千	百	拾	参	式	壹

不	計	末	也	久	於	乃	為
ふ	け	ま	や	く	お	の	ゐ
ふ	け	ま	や	く	お	の	ゐ

女	由	幾	佐	安	天	衣	己
め	ゆ	き	さ	あ	て	え	こ
め	ゆ	き	さ	あ	て	え	こ

无	寸	世	毛	比	惠	之	美
ん	す	せ	も	ひ	ゑ	し	み
ん	す	せ	も	ひ	ゑ	し	み

世の中にエライ人が無闇に  
多いと思うから、恥ずかしくなっ  
たり、極まりが悪くなるので、自  
分の心が高雅であると、下等  
な事をする者などは自然と眼  
下に見えるから、ちよつとも臆す  
る必要が起らないものだ。

夏目漱石「小宮豊隆への手紙」より

悦	益	闇	雲	物	防	輝	起
悦	益	闇	雲	物	防	輝	起

夏	美	素	残	資	癸	覺	鮮
夏	美	素	残	資	癸	覺	鮮

当	御	地	李	町	市	府	都
当	御	地	李	町	市	府	都

青年よ、大志を抱け。それは  
金銭や我欲のためではなく、  
また人呼んで名声という空しい  
もののためであってはならない。  
人間として当然そなえていなければならぬ、あらゆることを成し  
とげるために、大志を抱け。

クラークの言葉より